JPFP Since 1974

JPFP Newsletter

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

2023年9月

G20へGCPPD2023宣言文を提出

アジア人口・開発協会（APDA; JPFP事務局）、人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）並びにインド人口・開発議連（IAPPD）は、8月22日、若者に焦点を当てた国会議員ワークショップをニューデリーで開催し、武見敬三 AFPPD議長・JPFP幹事長が開会挨拶を行いました。

さらに、JPFP、AFPPD、APDAが4月に東京で共催した「G7広島サミットに向けた世界人口開発議員会議（GCPPD2023）」で採択された宣言文が、9月のG20を前に、ディーペンダー・フーダ AFPPD副議長からG20シェルパに直接手交されました。

詳しくはこちら

JPFP設立50周年特集 #4

ICPD行動計画への貢献

JPFPは、この半世紀、人口・開発問題に関して先駆的な方針を打ち出し、この分野をリードしてきました。その一つとして、1994年9月5～13日にカイロで国連が主催した「国際人口開発会議（ICPD、カイロ会議）」に先立ち、日本のリーダーシップの下、「国際人口開発議員会議」（9月3～4日）を開催しました。

参加した世界100か国以上、約300名の国会議員は、会議の成果文書として宣言文を採択し、ICPD

に建議しました。この宣言文の原案はJPFP/APDAが作成しました。当時、「国会議員が、地球規模で連帯して立ち上がり、人類と地球を救うために人口爆発を防ぎ、地球環境と調和した持続可能な開発を実施することによって安全な食糧や水を確保し、エネルギー公害を出さないように史上最大の戦略会議を開き、行政府に大きな刺激を与えたことは画期的なこと[1]」でした。

9月8日のICPDにおいて、議員会議の事務総長を務めた櫻井新AFPPD議長・JPFP幹事長（当時）が宣言文を発表し[2]、ICPDで採択される行動計画に宣言文の基本的な考えを反映してほしいと強く要望、最終的にICPD行動計画の「前文」と「原則」に大きく反映されました。これは、SDGsの基盤となりました。

[1] アジア人口・開発協会（1995）「国際人口開発議員会議（ICPPD）議事録」（p.4）

https://www.apda.jp/pdf/p05_resource/resource_series_1995_1_jp.pdf

[2] アジア人口・開発協会（2002）「興四海野春風—2002 20年の歩み—」

日本財団ウェブサイト：日本財団図書館（電子図書館）　興四海野春風?2002　20年の歩み? (zaidan.info)

少子高齢化ワークショップ ダイジェストビデオ

7月にバンコクで開催した「ICPD30：新たな人口動態に関するアジア太平洋地域国会議員ワークショップ」のダイジェストビデオ（約９分）がY-PEER APの協力により完成しました。

ビデオはこちらからご覧いただけます。

JPFP

国際人口問題議員懇談会（JPFP）は、1974年に設立された世界で最も長い歴史を持つ人口・開発問題に関する超党派議連です。JPFPは、APDAと一体となって、人口・開発に関する議員ネットワークを作り、多様な知見や経験を共有し、具体的な成果につなげてきました。

詳しくはこちら

JPFPご入会を希望される場合は、apda@apda.jpまでご連絡下さいますようお願い申し上げます。

APDA

公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）は、1982年の設立以来、JPFPの事務局を務めています。

詳しくはこちら

本ニュースレターは、国際家族計画連盟（IPPF）並びに賛助会員の方々のご支援を受けて発行しています。

IPPF International Planned Parenthood Federation

♥ 寄附・賛助金のお願い

APDAは「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。紺綬褒章は、認定された公益法人等に公益のために私財を寄附された個人や法人に授与されます。

DONATE NOW

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）
〒105-0003東京都港区西新橋2-19-5-8F
TEL: 03-5405-8844　FAX: 03-5405-8845
E-mail: apda@apda.jp　Website: https://www.apda.jp/
【編集責任：APDA】

Designed with BEE